

ローコストでデザインを充実させる家づくり

湯浅の家

設計・監理 中道哲也 株式会社 スタジオパートナー

施工 有限会社近畿紀の国建産

撮影：長岡写真事務所／長岡浩司



▲LDKは白を基調に、落ち着いた色合いでまとめたシックなデザイン。無垢の床材を用いて肌触りも抜群。

◀窓際には奥行きのある重心を下げた収納。一面に施すことで圧迫感もなくインテリアの一部に。



道路からの距離、車の配置、室内からの角度と計算された2階リビングは、夜でもプライバシーを守ります。



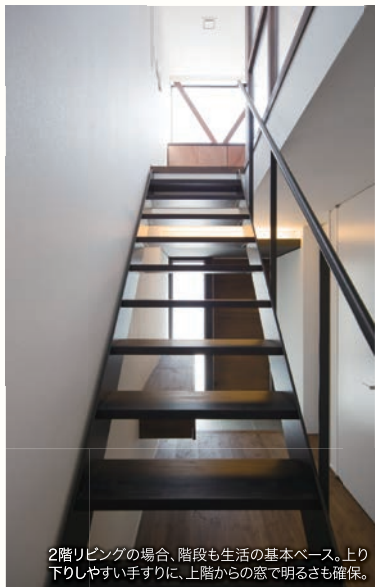
外構も周りの住宅に配慮しながら検討。緩やかなスロープを設けて車との距離もつくります。



家の顔となる1階の玄関は、ストリップ階段でインパクト。2階のデザイン性にも負けていません。



2階はLDKのみのワンフロア。すべての仕切りを取り除き、空間デザインで広がりや開放感を演出。



2階リビングの場合、階段も生活の基本ベース。上り下りしやすい手すりに、上階からの窓で明るさも確保。



トイレは読書好きのご夫婦がこだわった輸入クロスを使用。壁紙ひとつで奥行きもお洒落感もアップ。

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉
H25年4月～6月

〈実施設計期間〉
H25年6月～8月

〈見積もり依頼期間〉
H25年8月～9月

〈起工〉
H25年10月16日

〈上棟〉
H25年11月28日

〈完成・引渡し〉
H26年3月15日

住宅データ

家族構成／ご夫婦2人

構造／
木造在来軸組工法

建築面積／
51.32㎡ (約15.52坪)

延床面積／
1 F 48.85㎡ (約14.78坪)
2 F 49.68㎡ (約15.02坪)
計 98.53㎡ (約29.80坪)

敷地面積／
108.69㎡ (約32.87坪)

屋根／
ガルバリウム鋼板 縦ハゼ葺

外壁／
防火サイディング、アクリル系微弾性塗料吹付 掻落し

設計・監理



モットー 建て主・施工者・設計者 三位一体

中道哲也 Tetsu Yanakamichi

株式会社スタジオパートナー

1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級建築士。

施工



有限会社
近畿紀の国建産

建て主さんの声

和歌山の建築家と面談して決めれること、建築家さんから予算に合わせた提案を見せて頂いたことで建てようネットでの家づくりを決めました。敷地が狭かったのが、考えていたより遥かに広く感じられました。打ち合わせは大変でしたが、何度も細かい部分までたおかげで最終的に良い家が出来ました。また我が家1軒を作るのにたくさんの方に関わって頂き、頑張ってくれた皆さんに感謝です。

「建築家と一緒に建てるデザイン住宅」と聞くと、一般的に金額的にもブランド的にも難しいと思われるが、そこで登場するのが、地域の有名建築家と理想の家づくりを応援する「建てようネット(和歌山)」。優秀な建築家と信頼できる工務店の情報を集約して、建て主さんにご提供。新築からリフォームまで、憧れのマイホームが續々と誕生しています。

「システムの中でよかったのは、複数の建築家さんとお会いして家づくりを検討できたこと」とお話しいただいたのは、今回紹介する「湯浅の家」の建て主さんご夫婦。お一人が、株式会社スタジオパートナーの中道哲也さんに決めたのは、デザインだけでなく、現場監理から登記などのアドバイスまで、きめ細かい対応と、要望に対するフットワークの軽さ。御坊事務所を拠点に、和歌山事務所、田辺事務所と、地域に寄り添う「コミュニティ」を大切に、デザイン力とチームワークで県内外に活動の幅を広げています。

土地がご実家のすぐ隣で、少し住宅が密集している場所。まず考えたのが、その中で快適な空間づくり。ご夫婦の憩いの場所となるメインフロアを、2階リビングにすることで明るさ、広さ、プライバシーを保つデザインを実現しましたと中道さん。約27坪で、目標はローコスト。なかなか難しい注文のように聞こえますが、要望を明確にし、お二人の考えに優先順位を付けることで、夢を叶えることができると中道さんは言います。ご夫婦の考えがしっかりとしているというのは家づくり成功への大きな要素の一つですね。具体的なイメージというのではなく、必要か否かを判断できる考え。ローコストの場合は特に、ここで差が出てきます。

2階リビングは、思い切ったLDKだけの造り。洗面や浴室、トイレ、寝室やゲストルームはすべて1階に配置し、暮らしの中心となる憩いの空間をワンフロアにしました。周りの視線気にせず、開放感のあるリビングを活用でき、2階にあることで光と風をたっぷりと室内に取り入れることができます。広がりのある空間演出に用いたのは、壁一面に施した引き戸の建具。壁の半分は大容量のキッチン収納。残り半分は、階段サイドの壁一面をオリジナルのガラス戸でデザインすることで、圧迫感もなく、階段からの光もしっかりとリビングに透過します。窓辺の収納も特注。視線の奥行きを生かすため、あえて重心を下げた造りになっています。

「LDKは無垢の床材。またトイレと寝室は、建て主さん希望の輸入クロス。価格は少し高めですが、適材適所に予算を使い分けることで、こだわりのデザイン住宅が完成します」。

建てようネット
【和歌山】で建てた
新築
第78号

差し色が映えるこだわりのデザインハウス

高松の家

設計・監理 中道哲也 株式会社 スタジオパートスリー

施工 株式会社創和建設

撮影：アトリエワンデザインスタジオ 今西 浩文



▲壁も床も建具も、一面ホワイトをベースにした美しい佇まい。そこにライトウッドを加えることでナチュラル感をプラス。

◀もともととはご主人のご実家があった場所で、新旧が入り交じる住宅地。周辺環境に考慮しながら、圧迫感なく地域に受け込むデザインを追求。



リビングイン階段であり、吹き抜けを生かしたリビングホールのような装い。テレビ台として活用され、実用性も抜群。



白の空間を美しく照らし出すライトの反射。差し色と窓枠の対比効果がさらに引き出され、デザイン性を増します。



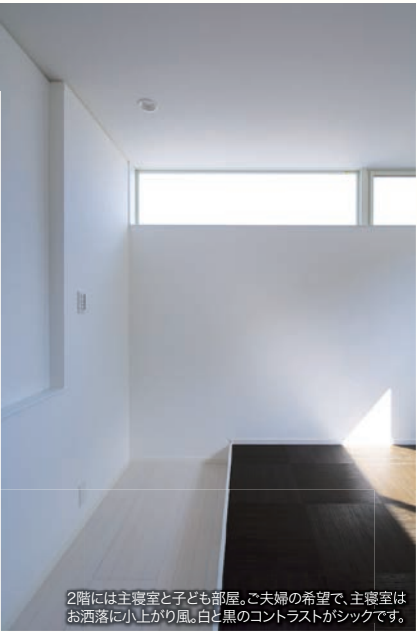
アクセントは差し色のダークウッド。夜は室内のライトアップ効果で窓枠の縦のラインが浮かび上がり重厚感を演出。



シンプルをテーマに、白をベースにした外観。横のラインを強調することで安定感のあるナチュラルなデザインに。



1階には客間兼の和室も準備。小部屋ながら光のあふれる暖かい空間は、隣に住むご両親の憩いのスペースです。



2階には主寝室と子ども部屋。ご夫婦の希望で、主寝室はお洒落に小上がり風。白と黒のコントラストがシックです。



家の顔となる玄関もベースは白。自然光とダウンライトを上手に生かすため、天井に差し色を加えるというインパクト。

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉
H25年2月～5月

〈実施設計期間〉
H25年5月～8月

〈見積もり依頼期間〉
H25年8月～9月

〈起工〉
H25年11月10日

〈上棟〉
H25年12月15日

〈完成・引渡し〉
H26年3月15日

住宅データ

家族構成／
ご夫婦、お子さん1人
構造／
木造在来軸組工法
建築面積／
67.91㎡ (約20.54坪)
延床面積／
1F 66.25㎡ (約20.04坪)
2F 58.65㎡ (約17.74坪)
計 124.90㎡ (約37.78坪)
敷地面積／
113.97㎡ (約34.47坪)
屋根／
ガルバリウム鋼板タテハゼ葺
外壁／
防火サイディング貼塗装仕上げ

設計・監理



モットー 建て主・施工者・設計者 三位一体

中道哲也 Tetsuya Nakamichi

株式会社スタジオパートスリー

1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級建築士。

施工



株式会社創和建設

建て主さんの声

外観のデザインや自由設計ができることに魅力を感じ、建てようネットでの家づくりを決めました。建てたお家を見せて頂き私たちが希望していた雰囲気にとっても合う建物をつくられると思い中道さんをお願いしました。創和建設さんはとても話しやすく私たちの要望をなんでも聞いてくれました。家づくりの過程の中では上棟式で木が組み上がった時に実感が湧いて来たのを覚えています。気に入っているところはキッチンと洗面台、フラットなデザインでリビングダイニングの空間を見渡せるところがポイントです。

「今回は差し色に黒に近いダークウッドを採用。白とナチュラルの質感を生かすシンプルモダンな仕上げです」

「シンプルに、ということでお二人とも白をベースにした空間づくりを希望していました。床も白を基調にした美しいデザイン。ここにナチュラルをテーマにしたウッド、キッチンや建具、階段などに明るめのライトウッドを使用しています。色だけでも広がりがある佇まい。ここからさらに、開放感とアクセントを引き出すのがデザインです。チームワークとデザイン力に定評があるスタジオパートスリーの真骨頂。メインフロアとなるLDKは、ワンフロア長方形のストレートな造り。ベースは白。アクセントはライトウッドを全面に使用した階段と吹き抜け。2階に通じる約20cmの空間が、小さな舞台のような効果を発揮します。実際にはテレビ台として使用し、吹き抜けの壁はまるで一面がスクリーン。広がりのあるホールのような効果を倍増させるのは、窓の形と差し色、場所と位置と形、そのバランスを最小限で最大限に生かすセンスが、高松の家の随所に光っています。」

中道さんと一緒に上った「高松の家」にも、建て主さんの思いがいつばい。そもそもは、ご主人が生まれ育ったご実家があった場所。その思いもひとしおです。「ご夫婦に小さな赤ちゃんと3人家族、シンプルでナチュラルに、というご要望がありました。ご実家の離れも近く、住宅地としては新旧が入り交じる形。周辺環境にも考慮して、室内だけでなく外観にも圧迫感のないデザインを採用しましたと中道さん。生かしたのは、形と色。シンプルでナチュラルというベースはそのままに、形で奥行きを持たせ、ポイントに差し色をプラス。外観も室内も、スマートにさり気なく、差し色が映えるシンプルな家。お洒落上級者のようです。」

家の第一目的は、大切な家族の安全と財産を守ること。その上で、周りの住環境に配慮し、安心・安全の大前提とルールを守りながら、建てられています。「大規模な地震以降、建築基準法は大幅に改善されてきました。それらはすべて家族を守るための安全基準。建築家は、この基準を当然のものとして一人ひとりのライフスタイルに合ったデザインを提供。安全と快適この2つをセットしてお届けするのです。制約の中にこそ、建て主さんにピッタリの住まいが見えてくると、株式会社スタジオパートスリーの中道哲也さんは言います。安全基準はもちろんです。その土地の周辺環境、建て主さんの思いの二つが違ったらこそ、建築家と一緒に上るデザイン住宅が完成するのです。」

建てようネット
【和歌山】で建てた
新築
第 79 号